

## グローブボックス(GBJV065)使用マニュアル

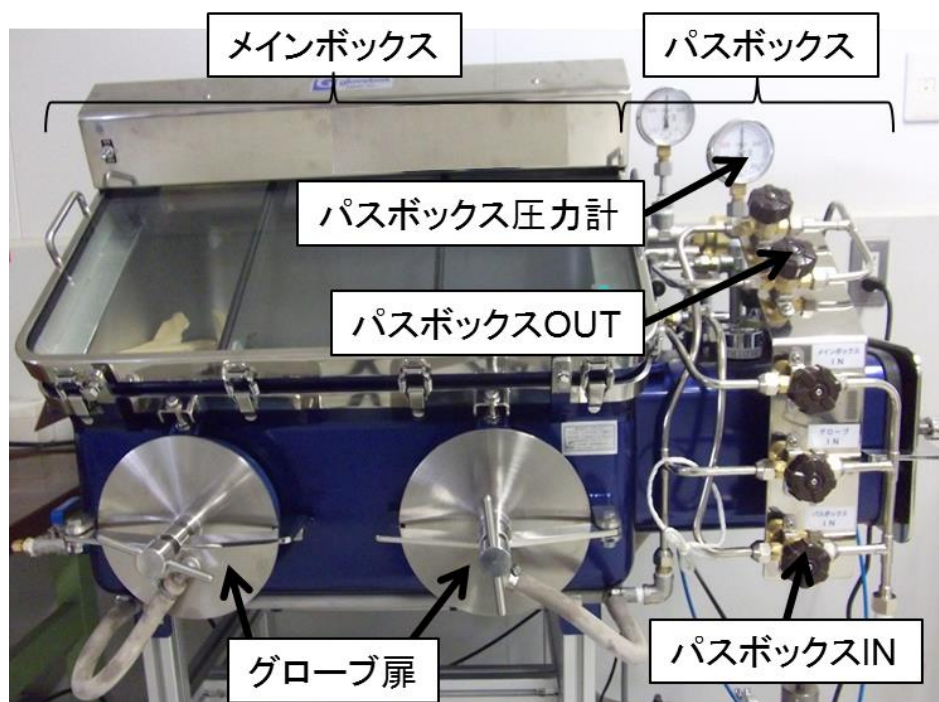
2018.8.23 伊奈

いずれの操作時もメインボックス内の雰囲気を変えないようご注意ください。

\*通常のボックス内の雰囲気は酸素濃度 0.2ppm、露点温度 $-75^{\circ}\text{C}$ 程度です。  
メインボックス内の雰囲気が悪化した、あるいはメインボックスを大気曝露した場合はすぐに担当者（伊奈：PHS 3473）までご連絡ください。

グローブボックス本体左手にあるガス循環装置、グローブボックス上部にある酸素濃度計、露点温度計は常時電源 ON です。通常、操作の必要はありません。

\*グローブボックスを使用しないときはアルゴンガスの元栓を締めるようにしてください。



各部の説明

### 1. 物品の導入、搬出手順

#### 1.1 確認事項

- アルゴンガスの元栓を開け、アルゴンガスの残量を確認する。残量が 3MPa 以下の時（あるいは大量に使用することが予想される時）は担当者に連絡する。
- メインボックスとパスボックスをつなぐ扉（パスボックス内扉）が閉まっていることを確認する。
- パスボックス内圧力が大気圧であることを確認する（パスボックス

圧力計メモリが 0)。大気圧でない場合はパスボックス IN のバルブを徐々に開け、ガスを供給する。

## 1.2 パスボックスの真空引き

- パスボックスの外扉を開け、パスボックス内のトレーに物品を乗せる。
- パスボックス外扉を**確実に**閉める。
- パスボックス OUT のバルブを徐々に開け、パスボックス圧力計が-0.1MPa(G)付近になるまで真空引きし続ける。
- パスボックス OUT のバルブを閉める。
- 適宜パスボックス IN のバルブを開け-0.05MPa 程度までアルゴンガスを導入する。
- 再度真空引きを行う（パスボックス IN 閉、OUT 開）。これを数度繰り返す。
- 残存水分量、酸素等が多い物品を導入する際は長時間（できれば半日以上）真空引きすることが望ましい。
- パスボックス OUT のバルブを閉める。
- パスボックス IN のバルブを開け、パスボックス圧力計が 0 になるまでガスを供給する。

## 1.3 メインボックス内への導入、搬出

- パスボックス内扉を開け、物品をメインボックスに取り込む。  
**\*物品の導入時にメインボックス内の雰囲気が大きく悪化した場合は、取込を中断しサイドボックスに物品を戻す。**
- パスボックス内のトレーに搬出したい物品を乗せる。
- パスボックス内扉を**確実に**閉める。
- パスボックス外扉を開け、搬出した物品を取り出す。
- パスボックス外扉を閉める。

## 2 メインボックス作業手順

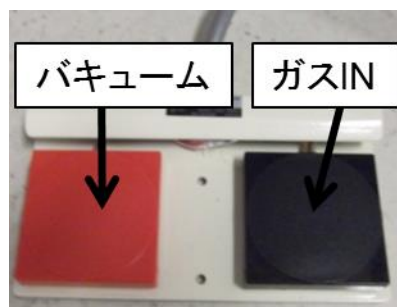
### 2.1 確認事項

- グローブを傷つける恐れのあるもの（指輪、時計、ブレスレット等）を外す。
- グローブ内部と地肌が直接接触すると汗で作業効率が落ちるので、長袖のシャツ、綿製手袋の着用が望ましい。

### 2.2 作業手順

- グローブ扉を開けて、グローブに手を入れる。この際、フットスイッチ式内圧調整器のバキューム（赤いスイッチ）を踏んで内圧を下げると手を入れやすくなる。

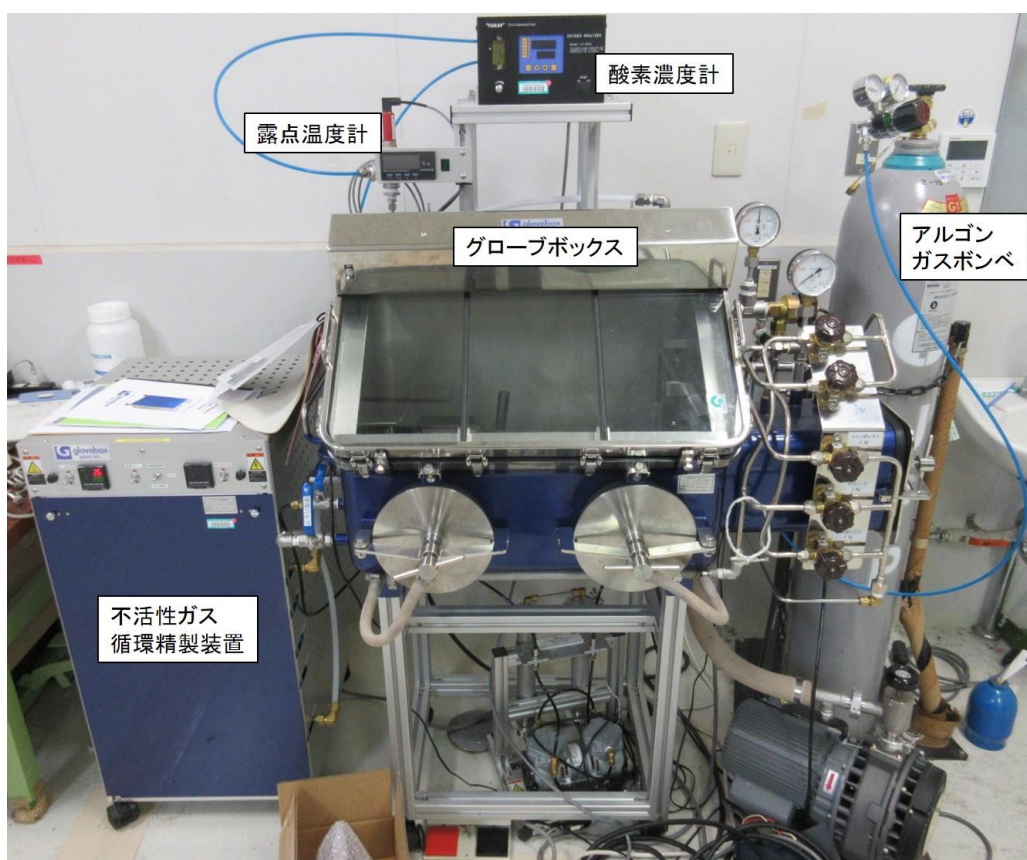
- グローブの汚れを防ぐためにサニメント手袋を装着する。また、メインボックス内の汚れを防ぐため、床面にキムタオルを敷くとよい。
- 作業終了後、導入した試料とともにサニメント手袋、キムタオルを回収する。試料搬出後はパスボックス内扉が**確実に**閉まっていることを確認する。
- 操作終了時はパスボックス OUT のバルブを開け、真空引きの状態を保つ。



\*グローブボックスを使用しないときはアルゴンガスの元栓を締める。

### 3 その他

- 消耗品が無くなりそうな場合はご連絡ください。
- グローブボックス内部のサンプル等はお持ち帰りください。
- メインボックスサイズ      650W X 450H X 450D
- パスボックスサイズ        200W X 200H X 330L



グローブボックス概観